

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

### 事業名 県産アユ利用普及促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111(内2913)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額：1,000 千円)

#### <財源内訳>

| 区 分 | 事業費   | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |       | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 1,000 | 358        | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 642        |
| 要求額 | 1,000 | 358        | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 642        |
| 決定額 |       |            |            |            |            |     |     |     |            |

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成27年12月、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定された。
- ・鮎をはじめとした地域の農林水産物・加工品から観光資源までを「長良川ブランド」として、普及啓発していく。
- ・知事の海外トップセールスなどにより岐阜県産鮎の知名度が上昇しており、需要の拡大が期待できる状況にある。
- ・平成30年6月には「清流長良川あゆパーク」が完成し、世界農業遺産の発信拠点としての利用が期待されている。

### (2) 事業内容

#### ○学生あゆ料理コンテストの開催

清流長良川あゆパーク・レストランにおけるメニュー候補とするために、栄養・調理を学ぶ県内学生による創作あゆ料理コンテストを開催

### (3) 県負担・補助率の考え方

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会（県、市、業界団体など）の一員として、当該事業は県が取り組む必要がある。

### (4) 類似事業の有無

#### ○花生けバトル

主催：岐阜県（農産園芸課内に事務局設置）

目的：花いけの表現力に関する審査を強調し、競争性を高めることで、より多くの若年層の花き文化への関心の高揚を図るため、第2回全国選抜大会を開催する。

#### ○鶏卵鶏肉料理コンクール、豚肉料理レシピコンクール

主催：岐阜県養鶏協会、岐阜県養豚協会、岐阜女子大学

県：中小家畜生産強化支援事業費補助金

目的：消費拡大を目的とした活動。受賞作品は協会のリーフレット及びホームページ等で公表。

## 3 事業費の積算 内訳

| 事業内容     | 金額    | 事業内容の詳細    |
|----------|-------|------------|
| 報酬費      | 105   | 審査員報償費     |
| 旅費       | 22    | 業務旅費       |
| 旅費       | 37    | 費用弁償       |
| 需用費      | 70    | 賞状及び副賞購入費  |
| 役員費      | 33    | 通信使、賞状筆耕費  |
| 使用料及び賃借料 | 17    | 会場使用料      |
| 業務委託料    | 716   | コンテストの運営委託 |
| 合計       | 1,000 |            |

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3年～令和7年度）

#### 第5章 政策の方向性

##### 1 基本方針ごとの重点施策と主な取組み

##### (3) ぎふ農畜水産物のブランド展開

##### ⑥ 鮎を守り育てる体制の構成

#### 第7章 主要品目別施策

##### (19) 淡水魚

### (2) 後年度の財政負担

岐阜県産鮎の販路拡大及び国内外への周知のため、継続的な事業の実施が必要となってくる。

### (3) 事業主体及びその妥当性

「清流長良川の鮎」を国内外に広くPRすることや、清流長良川あゆパークを活用した県内水産物の需要拡大は、県が積極的に推進する必要がある。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 周期の令和7年度に淡水魚の養殖生産量1,500tを達成

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名       | 事業開始前<br>(R元) | R2年度<br>実績<br>(暫定) | R3年度<br>目標 | R4年度<br>目標 | 終期目標<br>(R7) | 達成率 |
|-----------|---------------|--------------------|------------|------------|--------------|-----|
|           |               |                    |            |            |              |     |
| 淡水魚の養殖生産量 | 1,262t        | 1,269t             | 1,300t     | 1,450t     | 1,500t       | 85% |

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

|       |  |
|-------|--|
| 令和2年度 | <取組み内容><br>学生あゆ料理コンテスト応募118作品から入賞22作品を選定<br><事業の成果、今後見込まれる成果><br>① 創作あゆ料理を通しての世界農業遺産「清流長良川の鮎」のPR<br>② 清流長良川あゆパーク・レストランにおけるメニュー開発（候補：令和2年度学生あゆ料理コンテスト入賞22作品の中から2作品） |
| 令和3年度 | 令和5年度当初予算にて追加<br>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %   |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加<br>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %   |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|  |  |
|--|--|
| <b>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b><br>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない   |  |
| (評価)<br>3  | 「清流長良川の鮎」を国内外に広くPRすることや、清流長良川あゆパークを活用した県内水産物の需要拡大は、県が積極的に推進する必要がある。                                |
| <b>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b><br>3：期待以上の成果あり<br>2：期待どおりの成果あり<br>1：期待どおりの成果が得られていない<br>0：ほとんど成果が得られていない |  |
| (評価)<br>2  | 応募数について、新型コロナウイルス感染症の影響により118作品に減少したものの、3年連続で100作品以上の応募があり、清流長良川あゆパーク・レストランでメニュー化する等、事業の成果があがっている。 |

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

|            |                                      |
|------------|--------------------------------------|
| 補助事業名      |                                      |
| 補助事業者 (団体) | (理由)                                 |
| 補助事業の概要    | (目的)<br>(内容)                         |
| 補助率・補助単価等  | 定額・定率・その他 (例：人件費相当額)<br>(内容)<br>(理由) |
| 補助効果       |                                      |
| 終期の設定      | 終期〇〇年度<br>(理由)                       |

(事業目標)

|                        |
|------------------------|
| ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか |
|------------------------|

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前<br>(R) | R2年度<br>実績 | R3年度<br>目標 | R4年度<br>目標 | 終期目標<br>(R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
|     |              |            |            |            |             |     |
| ①   |              |            |            |            |             |     |
| ②   |              |            |            |            |             |     |

|                    |       |      |      |
|--------------------|-------|------|------|
| 補助金交付実績<br>(単位：千円) | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
|                    |       |      |      |

(これまでの取組内容と成果)

|       |   |
|-------|---|
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul> |
|       | 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %                                    |
| 令和3年度 | 令和5年度当初予算にて追加   |
|       | 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %                                    |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加   |
|       | 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %                                    |

(事業の評価)

|   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)<br/>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>   |  |
| (評価)  |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)<br/>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)<br/>2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)<br/>1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%)<br/>0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul> |  |
| (評価)  |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)<br/>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>   |  |
| (評価)  |  |

(今後の課題)

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li></ul> |
|--|

(次年度の方向性)

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li></ul> |
|---|